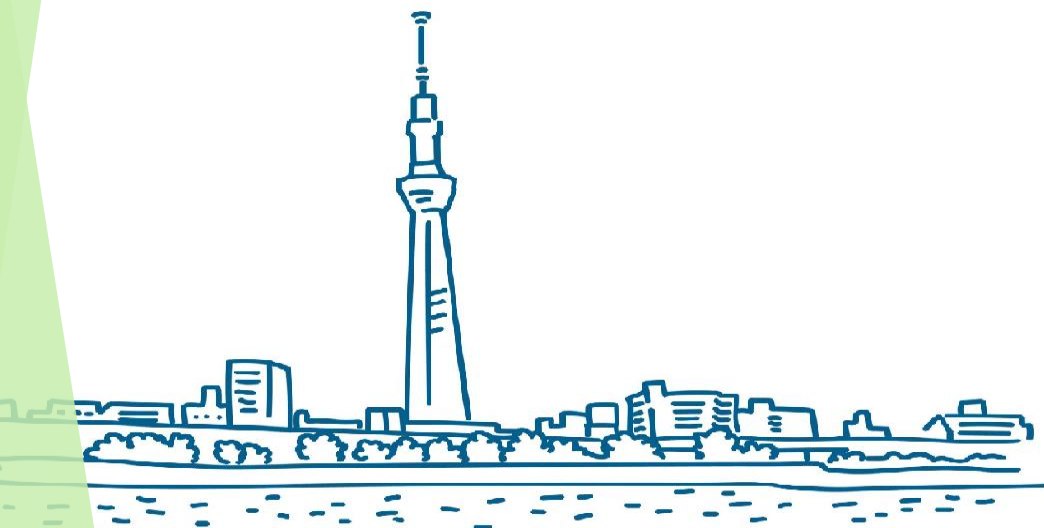
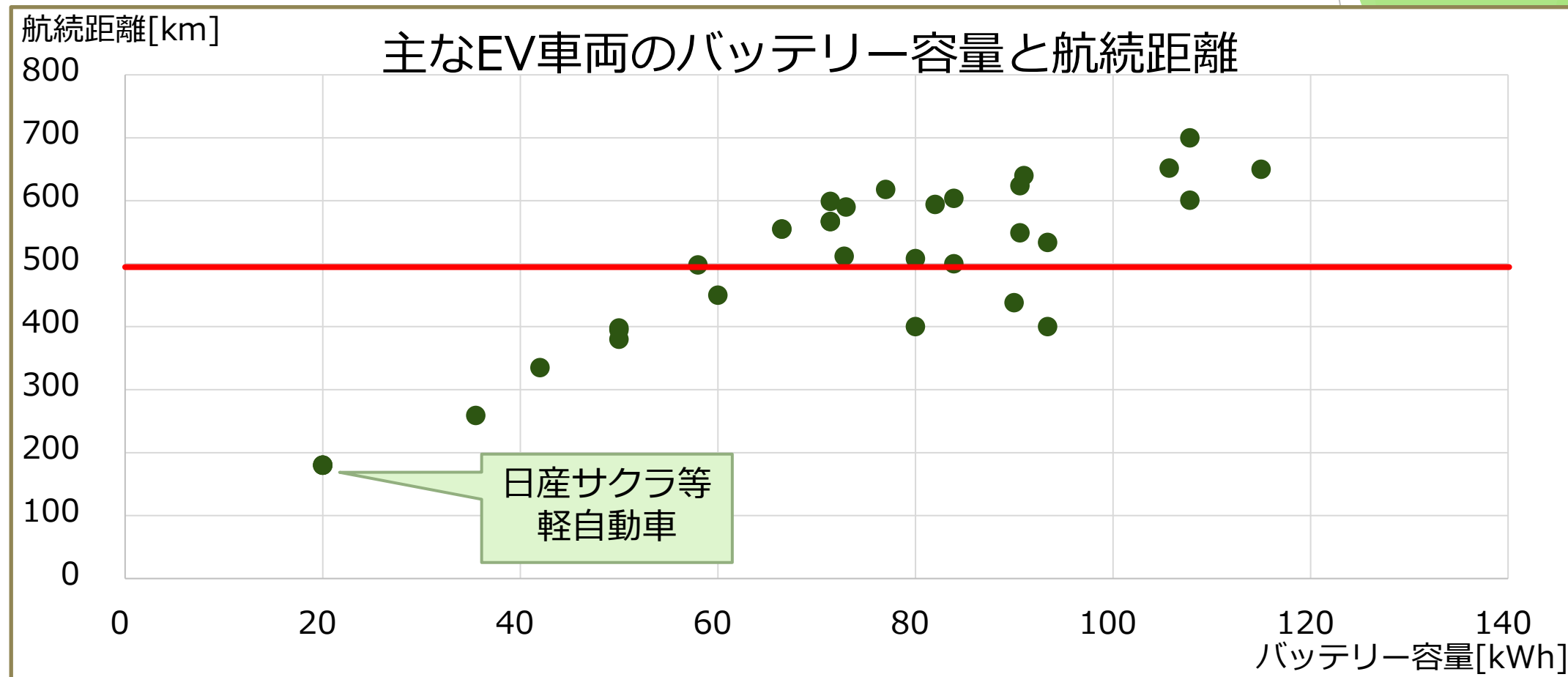


充電設備普及に向けた東京都の取組 ～集合住宅に対する支援策の概要～



東京都環境局気候変動対策部
家庭エネルギー対策課
令和7年3月16日（日曜日）

EVの航続距離とバッテリー容量



出典：各社公表資料等を基に作成

多くの車種がフル充電で**500km程度**走行可能

➡500km ≡ 東京～大阪の距離

国内自動車メーカーのE V計画

トヨタ自動車株式会社	- BEVの基準台数として2026年150万台 - BEVの基準台数として2030年350万台
本田技研工業株式会社	2040年までにEV・FCEV販売比率をグローバルで100% - EV主力モデル「Honda 0 シリーズ」を2030年までにグローバルで7 車種市場投入 - 電動化・ソフトウェア領域に2030年までに10兆円投資
株式会社SUBARU	2028年末までに、計 8 種のB E Vを市場投入 2030年までに、全世界B E V販売比率50%を目指す
日産自動車株式会社	2026年度までに、2兆円を投資、グローバルで電動車16車種を市場投入 2030年度までに、グローバルで電動車34車種を市場投入
マツダ株式会社	2027年からBEV専用車の本格導入 2030年のグローバルにおけるEV比率の想定を25~40%
三菱自動車工業株式会社	2023年から5年間にわたりグローバルで電動車 9 車種を市場投入 2035年度電動車販売比率100%を目指す

国と東京都の政策目標

【ZEVの普及目標】 ※ZEV（Zero Emission Vehicle）＝BEV、PHV、FCV

- ▶ 2035年までに乗用車新車販売で**電動車100%**（国）
- ▶ 2030年までに乗用車新車販売**100%非ガソリン化**、
都内乗用新車販売台数に占める**ZEV割合50%**（東京都）



【充電設備の普及目標】

- ▶ 2030年までに**充電インフラ30万口**(公共用急速充電設備3万口含む)
を整備。うち、**集合住宅**や月極駐車場等で**10~20万口**（国）
- ▶ 2030年に**都内集合住宅**にZEV充電設備を**6万口**設置（東京都）
- ▶ 2035年に**都内集合住宅**にZEV充電設備を**12万口**設置（東京都）

※2025年1月31日公表（2050東京戦略（案）パブリックコメント中）

E Vの充電場所

	基礎充電	経路充電	目的地充電
想定運用方法	自宅で充電	休憩中に継ぎ足し充電	停まっている間に充電
対象施設	・住宅 ・マンション 等	・コンビニ ・高速道路SA/PA ・自動車ディーラー 等	・商業施設、店舗 ・宿泊施設 ・従業員駐車場 等
滞在時間	長い	短い	様々
充電設備	普通充電設備	急速充電設備	普通充電設備 /急速充電設備



基礎充電 = 自宅充電がEV運用の基本

自宅充電のメリット

1 寝ている間に充電可能

▶ 実質待ち時間「0」



スマートフォンと同じ運用

2 給油のためだけの外出は不要

▶ 移動の時間や手間を大幅に削減

3 充電（維持）費用が安い

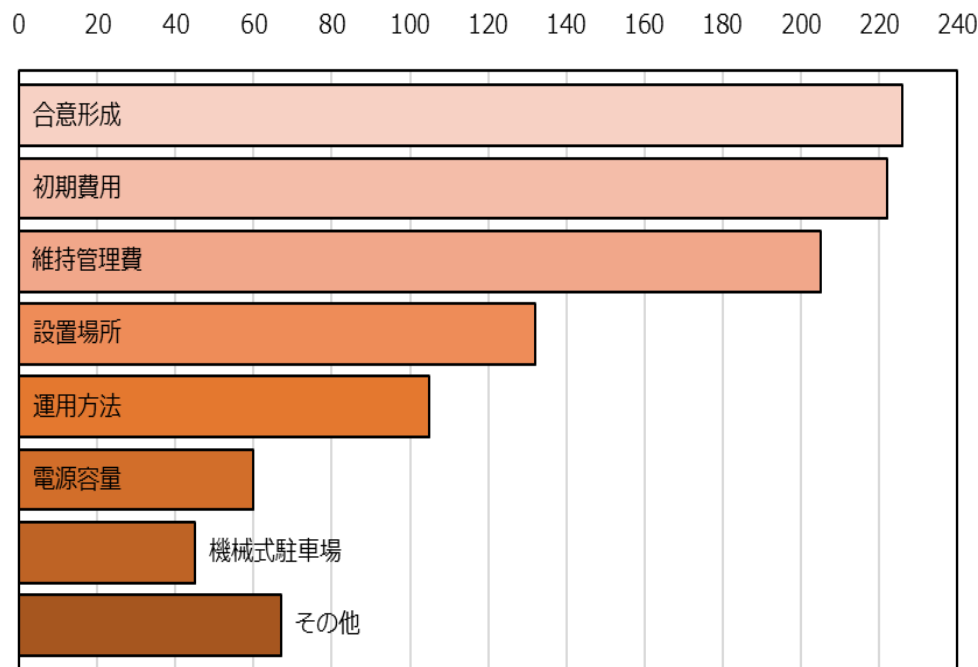
▶ 時間帯別料金や太陽光の利用で更にお得に

維持費用の試算例：年間1万km走行した場合

試算例	電費又は燃費	利用料金・単価	充電料金
自宅充電	電費6.0km/kWh	31円/kWh (全国家庭電気製品公正取引協議会の公表情報参照)	51,666円
ガソリン	燃費15.0km/L	レギュラーガソリン 175円/L (資源エネルギー庁 給油所小売価格調査)	116,666円

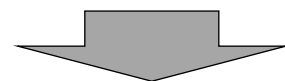
既築住宅への設置に関する課題

設置に当たっての課題 N = 714
(複数回答可)



充電設備設置に係る都内マンション管理組合への意向調査
(東京都環境局実施) 結果より

▶ 既築集合住宅では、**合意形成や費用負担**が課題となり、EV充電器の設置が進みにくい



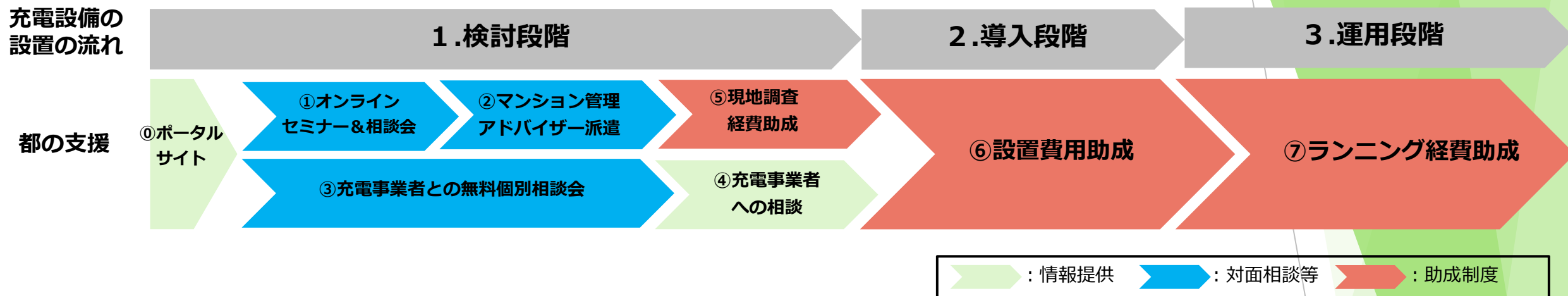
▶ 管理組合の理事等がEV所有者や導入に積極的な場合、既に設置や導入検討が進みつつある

▶ 賃貸住宅では、EV充電器がないために居住者が引っ越す事例も発生



今後は、集合住宅に充電設備があることが当たり前になり、**EV充電設備の有無がマンションの資産価値を左右**する

東京都の支援策の全体像



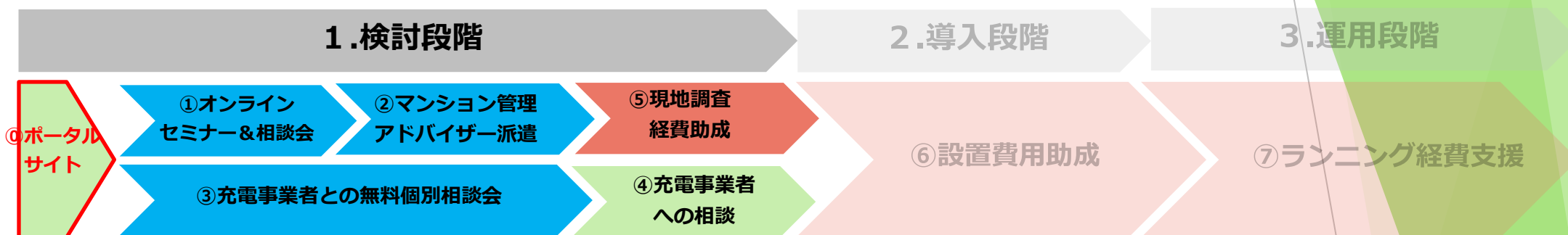
▶ 東京都が充電設備の導入を進める管理組合の皆様を
全面的にサポートします！

▶ 充電設備の検討から導入、運用までの全ての段階で
ニーズに応じた支援策を準備しています！

東京都の支援策【1.検討段階】

充電設備の
設置の流れ

都の支援



→ : 情報提供 → : 対面相談等 → : 助成制度

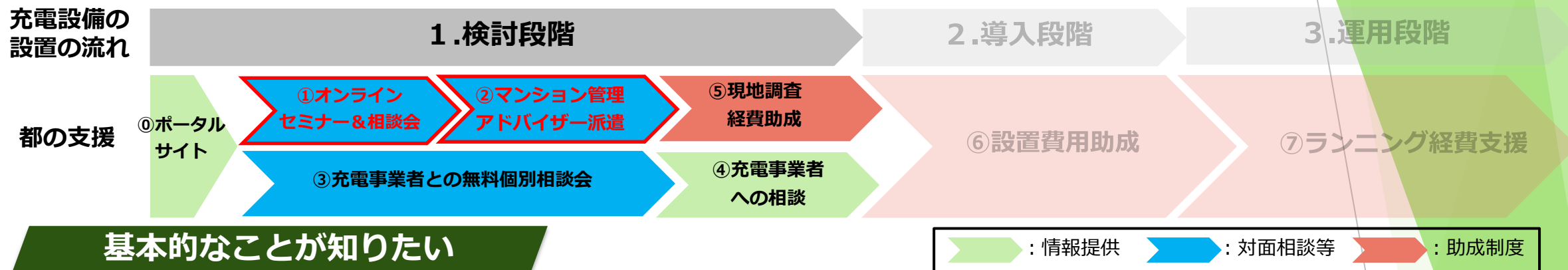
情報収集

①【ポータルサイト】

- ▶ マンションへの充電設備設置に特化
- ▶ 支援策、イベント等の情報を一元的に発信
- ▶ 情報収集はここから



東京都の支援策【1.検討段階】



①【オンラインセミナー&相談会】

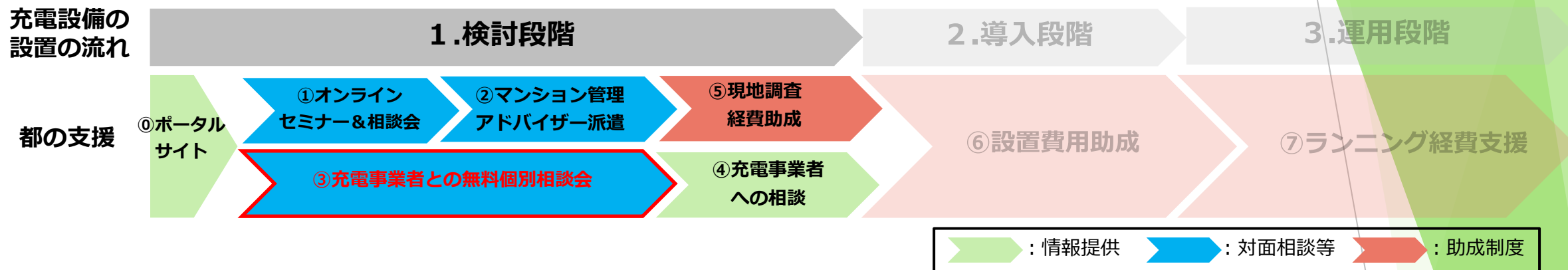
- ▶ 充電設備の導入に関する**初歩的なセミナー**を気軽にオンライン形式で開催
- ▶ 専門家に**直接質問も**可能



②【マンション管理アドバイザー派遣】

- ▶ 充電設備に精通した専門家を**無料でマンションに派遣（複数回利用も可能！）**
- ▶ **現地を見ながら**導入に関するアドバイス

東京都の支援策【1.検討段階】



充電事業者を選びたい

③【充電事業者との無料個別相談会（マッチング会）】

- ▶ 対面形式の相談会（年2回開催予定）
- ▶ 充電事業者各社のサービス内容の紹介と、**個別相談会**
- ▶ 充電事業者への相談と**サービスの比較検討**が可能



東京都の支援策【1.検討段階】

充電事業者を選びたい

④【充電事業者への相談】（サービス比較）

- ▶ 充電事業者の**サービス比較表**をポータルサイトに掲載
- ▶ 各項目ごとに**比較検討**が可能です！



東京都マンション充電器情報
ポータル



【充電サービス事業者・マン
ション連携協議会】

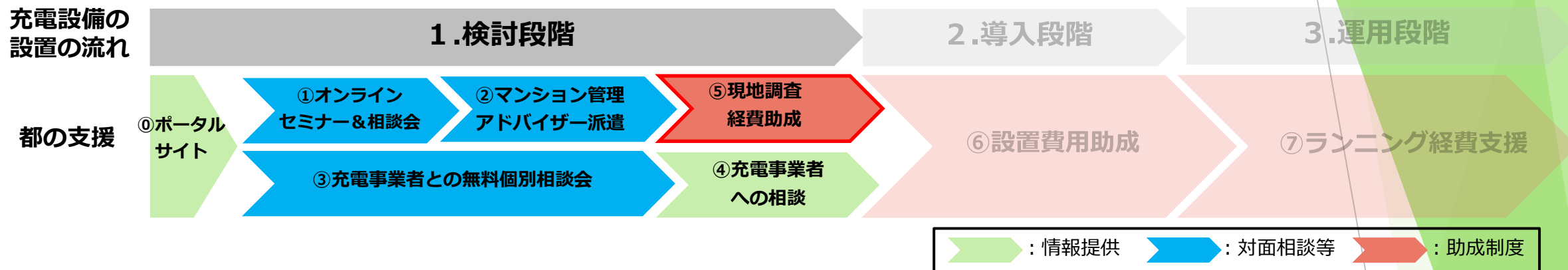


> 各充電事業者のサービス内容
一覧表はこちら



	事業者名	pmiテック株式会社	株式会社ファム	株式会社フルタイムシステム	ユアスタンド株式会社
	サービス名	pmicharge	ファムチャージ	F-charge(エフチャージ)	Yourstand
充電器	使用機器	デバイスフリー (普通充電器に対応)	・コンセント ・普通充電器 ※平面駐車場はデバイスフリー ※機械式駐車場は3kWコンセントのみ	コンセント	・コンセント ・普通充電器 ・急速充電器
	出力	3～6kW ※普通充電器であれば6kW以上も可（要相談）	3kW, 6kW	3kW～6kW	普通充電器1.6kW～8kW 急速：30kW 50kW
契約	契約形態	買い取り	買い取り	・買い取り ・リース	買い取り・サブスク
	所有権	管理組合	管理組合	管理組合	管理組合・当社 ※所有権が管理組合の場合 資産と補助金の申請元はお客様となるが、光電料金は決めて頂く ※所有権が当社の場合 資産・補助金申請元となりエンドユーザー（組合は無償）に対して サブスク
	契約期間	5年	1年（ただし、機械式駐車場の場合は保守契約に 連動）	リースは5年	5年

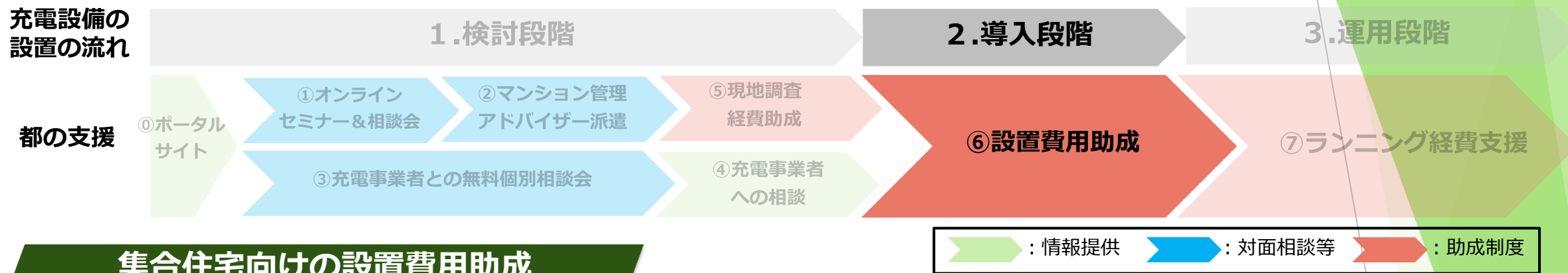
東京都の支援策【1.検討段階】



見積もりや提案書が欲しい

- ⑤【現地調査経費助成】（マンション充電設備普及促進事業）
- ▶ 現地調査や提案書・見積書作成に係る経費を助成
 - ▶ 実施事業者として登録された充電事業者へ依頼
 - ▶ 設置案や費用を把握し、合意形成に活用
 - ▶ 助成額：上限18万円/件（同一年度内の複数利用は不可）

東京都の支援策【2.導入段階】



集合住宅向けの設置費用助成

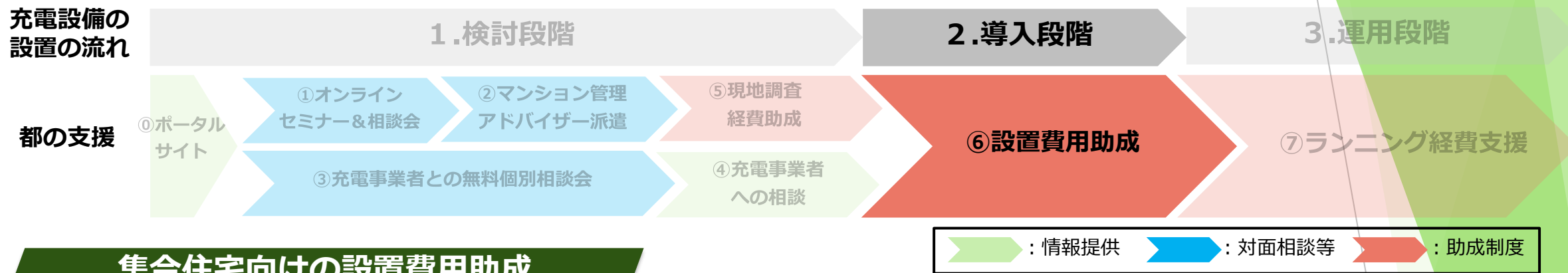
充電設備の機器購入費と工事費の両方を助成（国と併給可）

【機器購入費】

- ▶ **超急速充電設備**（出力90kW以上）、**急速充電設備**（出力10kW以上）：**全額助成**
- ▶ **普通充電設備、V2H、充電用コンセント等**：**半額助成**

※機種ごとに上限あり。蓄電池付き充電設備の超急速充電設備・急速充電設備の場合は**335万円**上乗せ

東京都の支援策【2.導入段階】



集合住宅向けの設置費用助成

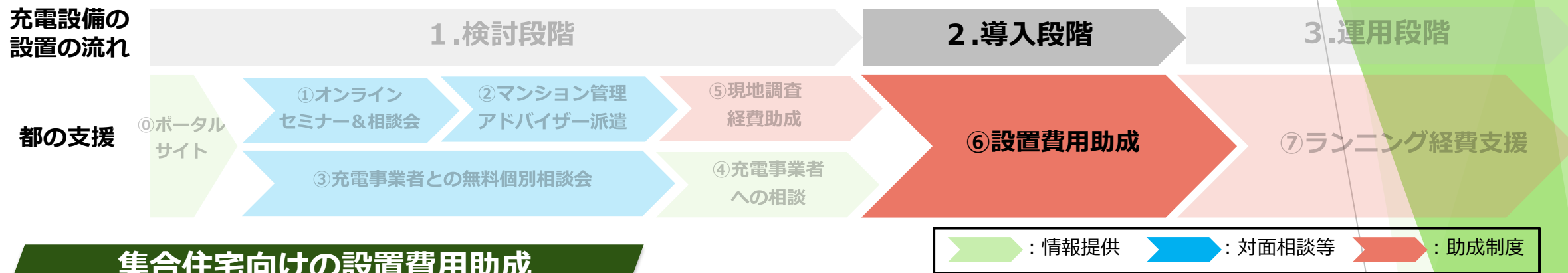
【工事費】 工事対象経費の**10/10助成**（機種等に応じて上限あり）

- ▶ 超急速充電設備：1,600万円/基、急速充電設備：6万円/kWか309万円/基のいずれか低い方
- ▶ 普通充電設備、V2H、充電用コンセントスタンド
 - ： **135万円/基**（1基目）、**68万円/基**（2基目以降）
- ▶ 充電用コンセント： **95万円/基**（1基目）、**48万円/基**（2基目以降）

※機械式駐車場に充電設備（超急速・急速除く）を設置する場合

： **171万円/基**（1基目）、**86万円/基**（2基目以降）

東京都の支援策【2.導入段階】



集合住宅向けの設置費用助成

【工事費】 工事対象経費の**10/10助成**（機種等に応じて上限あり）

- ▶ **通信機能付き充電設備**の場合（工事費上限額に上乗せ）

超急速・急速：+10万円/基、普通・V2H等：**+3万円/基**

- ▶ 将来の設備設置を見据えた**先行工事**（配管等）

機械式駐車場以外：**7万円/区画**、機械式駐車場：**30万円/区画**

- ▶ 遠隔制御用**エネルギーマネジメント設備**：30万円

東京都の支援策【2.導入段階】

助成対象設備等	設備購入費	設置工事費		上乗せ補助等
超急速充電設備 (出力90kW以上)	全額 (機種ごとの 上限あり)	上限1,600万円		蓄電池付充電設備 上限+335万円/基 通信機能付充電設備 上限+10万円/基
急速充電設備 (出力10kW以上)		上限6万円/kW or 上限309万円/基 (いずれか低い方)		
普通充電設備 V2H充放電設備 充電用コンセントスタンド	半額 (機種ごとの 上限あり)	上限135万円(1基目) 上限68万円(2基目以降)	機械式駐車場へ設置する場合 上限171万円/基(1基目) 上限86万円/基(2基目以降)	通信機能付充電設備 上限+3万円/基
充電用コンセント		上限95万円(1基目) 上限48万円(2基目以降)		
将来の充電設備設置 のための先行工事	-	機械式駐車場以外：上限7万円/区画 機械式駐車場：上限30万円/区画		-
遠隔制御用 エネルギーマネジメント設備	-	上限30万円		-
新規 充電設備設置に併せた 機械式駐車場の改修工事 (EV対応への更新)	-	上限140万円/パレット		

※合計出力50kW以上の充電設備を導入する場合、受変電設備改修費（機器購入費・設置工事費）を上限435万円まで補助

東京都の支援策【2.導入段階】



集合住宅への太陽光発電システム及び蓄電池への助成

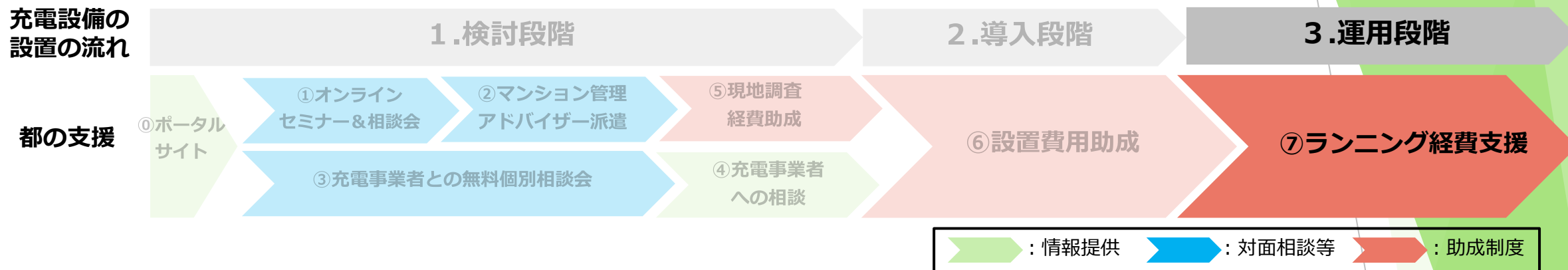


- ▶ V2Hと同時に申請する場合、太陽光発電システム及び蓄電池の購入費・工事費を10/10助成
- ▶ 上限額は**太陽光：30万円/kW**（既存住宅の陸屋根設置に対して防水工事費の上乗せあり）、**蓄電池：20万円/kWh**で、全体で**上限額1,500万円**

既存戸建住宅向けの助成【参考】

	助成対象設備		設備購入費	設置工事費	主な要件
既存戸建住宅	普通充電設備	通信機能なし	25,000円/基（定額）		太陽光発電の設置または再エネ100%の電力契約
	充電用コンセント 充電用コンセントスタンド	通信機能付き	上限30万円/基	—	

東京都の支援策【3.運用段階】



設置後のランニング経費支援

- ▶ **一需要場所複数引込**で充電設備設置をする際に、**電気料金（基本料金）**を助成
- ▶ 充電設備を**10基以上**（駐車区画が10区画未満の場合は全ての駐車区画）設置すること
- ▶ **18万円/年（低圧）、334万円/年（高圧）**を上限額に最大**3年間**助成

来年度のイベント等のお知らせ

▶ オンラインセミナー&相談会

- 令和7年度 4回開催予定

▶ マンション管理アドバイザー派遣

- 派遣件数100件
- 先着順なのでお早めにお申し込みを！（**複数回**ご利用いただけます！！）
- 詳細はポータルサイト（**右下QRコード参照**）の「各種相談」をご覧ください

最新情報等は「東京都マンションEV充電器ポータル」をご覧ください！

- これまでのセミナー等の動画も視聴できます
- **メルマガに登録**（右記ポータルサイトから可能です）すると、最新情報をタイムリーにお知らせします

